

厨房機器一式レンタル

中古厨房機器販売のテンポスホールディングス（HD）は厨房機器のレンタル事業を本格展開する。店舗で活用されていない休眠在庫を活用し、同業他社より割安で貸し出す。ここ数年は音楽フェスや野外イベントの市場が拡大しており、会場の飲食ブース用に機器を貸し出す。開業資金を工面できない個人事業主向けにも長期レンタルして収益源を広げる。

イベントの飲食ブース用に厨房機器を貸し出す



テンポスHD、ネットに予約サイト 店舗展示の在庫を活用

備用など大半は業者の需要を見込むが、学園祭の模擬店用など一般向けの需要も取り込む。

これまでは飲食業者から要望があった場合のみ、一部店舗でレンタルに対応していた。今後はインターネット上に予約サイトを設け、誰でもネット上で申し込みができるようにする。各店舗で受け取りができるようにするほか、依頼場所まで運送するサービスを展開する。

テンポスは約2万8000点の厨房関連機器を扱うが、食器などを除いて、店頭と並ぶほぼ全ての厨房機器を貸し出す。店で売れないまま展示されている在庫を活用する



休眠在庫をレンタル品として活用（テンポスHDの店舗）

ため料金は他のレンタル会社より低く抑える。

例えば、業務用の冷凍冷蔵庫は2泊3日で3万2400円で貸し出す。貸し出し後は同社の専用工場でメンテナンスして再びレンタルするほか、中古商品としても売り出す。

3月末まで中京や関東の5店舗で試験展開していた。試験店舗ではレンタルの予約をきつかけに来店が増え、中古厨房機器の販売が7割増えた店もあったという。今後はレンタル事業を通じてテンポスの認知度を高め本業の売り上げ増にもつなげる。

2〜3年間程度の長期レンタルにも対応する。同社によると、飲食店の新規開店を目指す個人事業主は出店資金を集めることが難しく、開業のハードルが高くなっていった。厨房機器や家具をレンタル品として提案して、飲食の参入障壁を下げ、顧客網を広げる狙いもある。

音楽フェスなど野外ライブ市場の拡大も追い風とみる。ぴあ総研によると2017年の音楽フェスの市場規模は16年比13・7%増の283億円で過去最高を更新した。今後も活況が続くとみられ、臨時の飲食店ブースの需要を取り込む。20年4月期に1億円の売り上げを目指し、24年4月期までに10億円の事業に育てる。